

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	長崎県		市町村類型	指定団体等の指定状況			区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)			
							歳入総額	歳出総額			実質収支比率	経常収支比率					
			- 1	財政健全化等			×	64,081,688	63,950,701		2.7	2.8					
				財源超過			×	62,632,764	62,688,910		89.3	87.4					
市町村名	諫早市		地方交付税種地	1-4				1,448,924	1,261,791	(1)	(96.0)	(96.7)					
				首都			×	460,755	238,579		36,195,164	36,067,006					
				近畿			×	988,169	1,023,212		0.51	0.53					
人口	22年国調(人)	140,752	産業構造 (5)			中部	×	単年度収支	-35,043	17,886		21.7	21.5				
	17年国調(人)	144,034				過疎	×	積立金	810,824	1,657,196							
	増減率 (%)	-2.3	区分	22年国調	17年国調	山振	×	繰上償還金	321,285	55,486		-	-				
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	141,325	第1次	4,250	5,061	低開発	×	積立金取崩し額	800,000	800,000		-	-				
	23.03.31(人)	141,662		6.9	7.5	指数表選定		実質単年度収支	297,066	930,568		11.6	12.9				
	増減率 (%)	-0.2	第2次	14,341	16,027			基準財政収入額	13,499,064	12,906,299		38.4	60.0				
面積 (km ²)	321.26		第3次	23.1	23.7			基準財政需要額	26,347,791	25,989,657							
人口密度 (人/km ²)	438			43,406	46,176			標準税収入額等	17,368,537	16,587,751							
世帯数 (世帯)	50,989			70.0	68.3			経常経費充当一般財源等	32,547,535	32,649,209							
職員等の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	71,076,255	73,365,943							
	市区町村長	1	9,600	一般職員	814	2,783,880	3,420	うち公的資金	50,765,894	51,545,191							
	副市区町村長	2	7,800	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	1,650,064	2,345,876							
	教育長	1	6,750	うち技能労務職員	44	159,852	3,633	収益事業収入	-	-							
	議会議長	1	5,000	教育公務員	23	92,115	4,005	土地開発基金現在高	300,000	300,000							
	議会副議長	1	4,200	臨時職員	-	-	-	積立金	3,885,126	3,874,302							
	議会議員	32	4,050	合計	837	2,875,995	3,436	現在高	2,506,800	2,003,432							
				ラスバイレス指数(6)	107.2	(99.1)		財政調整基金	17,165,451	15,716,770							
								減債基金									
								その他特定目的基金									
一般会計等の一覧																	
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法通)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非通)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(3)
(1)	一般会計	(3)	国民健康保険事業特別会計	(7)	水道事業会計	(10)	浄化槽事業特別会計	(11)	県央地域広域市町村圏組合一般会計	(17)	諫早市施設管理公社						
(2)	墓園事業特別会計	(4)	介護保険事業特別会計	(8)	工業用水道事業会計			(12)	県央東部広域環境組合一般会計	(18)	株式会社県央企画						
		(5)	後期高齢者医療特別会計	(9)	下水道事業会計			(13)	長崎県南部広域水道企業団水道用水供給事業会計	(19)	諫早市土地開発公社						
		(6)	駐車場事業特別会計					(14)	長崎県後期高齢者医療広域連合普通会計	(20)	諫早市小長井振興公社						
								(15)	長崎県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療事業会計								
								(16)	長崎県市町村総合事務組合一般会計								

(注釈) 1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。
 4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 6: ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位 千円・%)				地方税の状況(単位 千円・%)				歳出の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
地方税	16,298,609	25.4	15,261,102	45.0	普通税	15,256,841	93.6	123,595	議会費	491,511	0.8	-	491,421
地方譲与税	548,186	0.9	548,186	1.6	法定普通税	15,256,841	93.6	123,595	総務費	8,364,830	13.4	38,957	7,951,352
利子割交付金	35,044	0.1	35,044	0.1	市町村民税	6,274,747	38.5	123,595	民生費	19,543,747	31.2	129,026	8,573,791
配当割交付金	20,467	0.0	20,467	0.1	個人均等割	185,478	1.1	-	衛生費	4,329,781	6.9	445,558	3,629,636
株式等譲渡所得割交付金	3,633	0.0	3,633	0.0	所得割	4,990,836	30.6	-	労働費	238,847	0.4	30,355	49,487
地方消費税交付金	1,317,740	2.1	1,317,740	3.9	法人均等割	338,646	2.1	-	農林水産業費	3,687,607	5.9	1,691,861	1,875,839
ゴルフ場利用税交付金	41,723	0.1	41,723	0.1	法人税割	759,787	4.7	123,595	商工費	1,952,196	3.1	-	301,349
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	7,602,313	46.6	-	土木費	6,105,218	9.7	3,271,275	3,686,420
自動車取得税交付金	79,743	0.1	79,743	0.2	うち純固定資産税	7,552,187	46.3	-	消防費	1,787,481	2.9	58,407	1,682,149
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	341,686	2.1	-	教育費	6,408,112	10.2	2,488,029	3,829,322
地方特例交付金	175,119	0.3	175,119	0.5	市町村たばこ税	1,038,095	6.4	-	災害復旧費	152,857	0.2	-	35,191
児童手当及び子ども手当特例交付金	77,805	0.1	77,805	0.2	鉦産税	-	-	-	公債費	9,570,577	15.3	-	9,259,734
減収補填特例交付金	97,314	0.2	97,314	0.3	特別土地保有税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-
地方交付税	17,683,042	27.6	16,256,424	48.0	法定外普通税	-	-	-	歳出合計	62,632,764	100.0	8,156,438	41,365,691
普通交付税	16,256,424	25.4	16,256,424	48.0	目的税	1,041,768	6.4	-					
特別交付税	1,426,601	2.2	-	-	法定目的税	1,041,768	6.4	-					
震災復興特別交付税	17	0.0	-	-	入湯税	4,261	0.0	-					
(一般財源計)	36,203,306	56.5	33,739,181	99.6	事業所税	-	-	-					
交通安全対策特別交付金	27,079	0.0	27,079	0.1	都市計画税	1,037,507	6.4	-					
分担金・負担金	827,352	1.3	-	-	水利地益税等	-	-	-					
使用料	676,832	1.1	60,519	0.2	法定外目的税	-	-	-					
手数料	228,809	0.4	-	-	旧法による税	-	-	-					
国庫支出金	8,611,090	13.4	-	-	合計	16,298,609	100.0	123,595					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-									
都道府県支出金	5,062,197	7.9	-	-									
財産収入	570,224	0.9	56,406	0.2									
寄附金	4,569	0.0	-	-									
繰入金	2,325,439	3.6	-	-									
繰越金	1,261,791	2.0	-	-									
諸収入	2,136,600	3.3	3,093	0.0									
地方債	6,146,400	9.6	-	-									
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-									
うち臨時財政対策債	2,570,000	4.0	-	-									
歳入合計	64,081,688	100.0	33,886,278	100.0									

区分	平成23年度	平成22年度
徴収率 現・計	97.9	90.7
(%) 年	98.1	91.8
	97.5	89.0
		97.2
		87.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	6,600,223	実質収支	633,221
下水道	1,846,241	再差引収支	357,071
上水道	191,981	加入世帯数(世帯)	21,421
その他	19,993	被保険者数(人)	38,224
工業用水道	6,951	被保険者	84
国民健康保険	1,002,249	1人当り	141
その他	3,532,808	保険税(料)収入額	330
		国庫支出金	141
		保険給付費	330

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	30,981,968	49.5	20,562,680	20,027,009	54.9
人件費	8,272,171	13.2	7,823,933	7,610,982	20.9
うち職員給	5,139,224	8.2	4,787,224	-	-
扶助費	13,139,220	21.0	3,479,013	3,477,578	9.5
公債費	9,570,577	15.3	9,259,734	8,938,449	24.5
元利償還金	9,570,576	15.3	9,259,733	8,938,448	24.5
内 うち元金	8,436,088	13.5	8,175,359	7,854,245	21.5
訳 うち利子	1,134,488	1.8	1,084,374	1,084,203	3.0
一時借入金利子	1	0.0	1	1	0.0
その他の経費	23,341,501	37.3	18,985,359	12,520,526	34.3
物件費	5,322,008	8.5	4,004,866	3,643,483	10.0
維持補修費	724,092	1.2	555,009	554,918	1.5
補助費等	6,822,191	10.9	6,281,507	5,204,952	14.3
うち一部事務組合負担金	2,642,822	4.2	2,617,470	2,468,905	6.8
繰出金	4,557,110	7.3	3,917,457	3,117,173	8.6
積立金	4,281,600	6.8	4,226,520	-	-
投資・出資金・貸付金	1,634,500	2.6	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	8,309,295	13.3	1,817,652	-	-
うち人件費	258,487	0.4	258,487	-	-
普通建設事業費	8,156,438	13.0	1,782,461	-	-
うち補助	3,435,924	5.5	135,459	-	-
うち単独	3,476,618	5.6	1,585,070	-	-
災害復旧事業費	152,857	0.2	35,191	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	62,632,764	100.0	41,365,691	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成23年度 長崎県諫早市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	64,006	62,645	1,361	901	2,325	71,076	
2 墓園事業特別会計	95	8	87	87	-	-	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297					</		

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

長崎県諫早市

人口	141,325人	(H24.3.31現在)	実収赤字比率	- %
面積	321.26 km ²		実収赤字比率	- %
人口密度	64,081.688 千円		実収赤字比率	11.6 %
総収入	62,632,764 千円		将来負担比率	38.4 %
総支出	988,169 千円			
標準財政規模	36,195,164 千円			
地方債現在高	71,076,255 千円			

市町村類型	H19	H20	H21	H22	H23
(年度毎)	- 1	- 1	- 1	- 1	- 1



市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実収公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。『人件費・物件費等の状況』の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

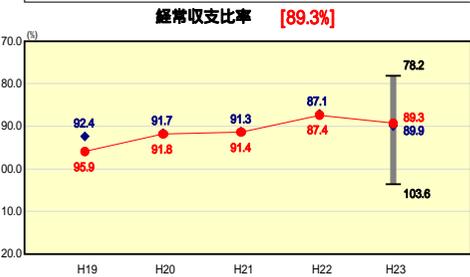
財政力



類似団体内順位 75/88 全国平均 0.51 長崎県平均 0.38

財政力指数の分析
・長引く景気低迷による個人所得の減収などから0.51(前年度比0.02ポイント減)と類似団体平均と比較しても依然下回っているため、税収の確保(納付しやすい環境整備や収入促進の専門職員を配置し、調査・折衝を強化するとともに、差押物件の公売等、滞納処分も積極的に実施し、徴収率の向上に努める。)や公債費と交付税措置とのバランスへの配慮など、身の丈にあった財政運営となるよう努める。

財政構造の弾力性



類似団体内順位 38/88 全国平均 90.3 長崎県平均 88.8

経常収支比率の分析
・経常経費充当一般財源は、平成22年度の団塊世代の影響による退職手当の減、また繰上償還の効果による公債費の減などにより、0.3%の減であったものの、歳入経常一般財源等総額が、臨時財政対策債の算定方式の変更などにより、2.4%減となった結果、経常収支比率は、89.3%(前年度比1.9ポイント増)となった。
昨今の経済情勢により、今後も扶助費等の増加が見込まれることから、自主財源の確保、集中改革プランに沿った定員管理の適正合理化、民間委託の推進などを行い財政構造の健全化を図る。

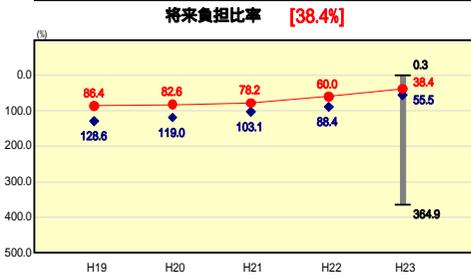
人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 20/88 全国平均 119,477 長崎県平均 124,110

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析
・類似団体と比較して、人口1人当たりの人件費・物件費等決算額が下回っているのは、人口千人当たり職員数が類似団体と比較して0.73人下回っているためであり、今後も集中改革プランに基づく定員管理や経費の節減、見直しを着実に推進する。

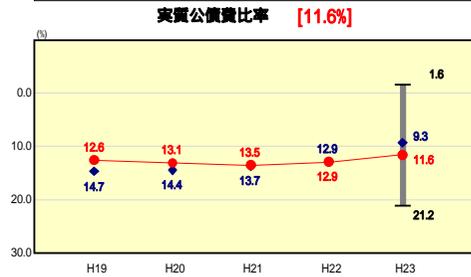
将来負担の状況



類似団体内順位 33/88 全国平均 69.2 長崎県平均 51.7

将来負担比率の分析
・類似団体平均、全国平均、長崎県平均をいずれも下回っており、主たる要因としては、繰上償還の実施などによる地方債現在高の減、平成22年度に創設した諫早市まちづくり未来基金への積立てなど充当可能基金の増額があげられる。
今後も後年度への公債費負担を抑制できる繰上償還を継続するなど、引き続き財政の健全化に努めていく。

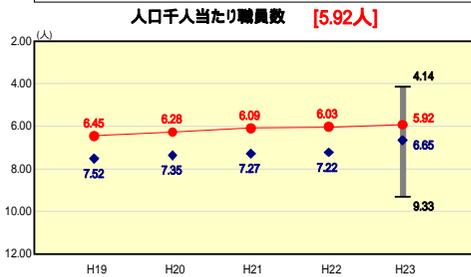
公債費負担の状況



類似団体内順位 64/88 全国平均 9.9 長崎県平均 11.6

実収公債費比率の分析
・類似団体平均より2.3ポイント上回っているものの、前年度より1.3ポイント改善している。
元利償還金については増の傾向にあるが、合併特例債事業債の活用により控除対象である算入公債費等も増となっており、結果として分子は減少傾向にある。
今後も合併特例債事業債などの交付税算定上有利な起債を活用しつつ、公債費と交付税措置とのバランスも配慮し事業の見直しを行いながら、健全な財政運営に努める。

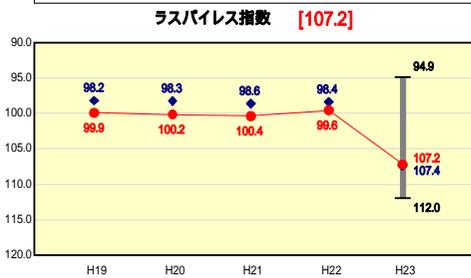
定員管理の状況



類似団体内順位 27/88 全国平均 7.17 長崎県平均 7.78

人口千人当たり職員数の分析
・過去からの集中改革プランの実施により類似団体平均、全国平均、長崎県平均をいずれも下回っている。今後も事務事業の見直し、民間移譲等の推進、適材適所の職員配置を行い、職員数の適正化に努める。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 36/88 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3

ラスパイルズ指数の分析
・国の時限的な給与改定特例法による給与削減措置が行われているため、増加している。
国の給与削減措置が行われなかった場合のラスパイルズ指数参考値は、99.1となり、昨年より減少し、国が昇給回復措置を行っていることや、職員構成や経験年数階層構成の変動が要因となっている。
職員給与については、国の制度の動向に配慮しつつ、引き続き適切な対応を行うとともに、職員の能力・実績を反映できる給与制度のあり方について検討を行っていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

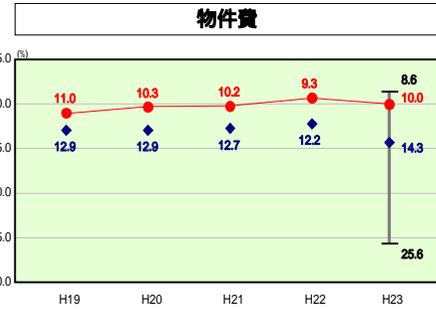
長崎県諫早市

経常収支比率の分析

人口	141,325人	(H24.3.31現在)	実質赤字比率	- %
面積	321.26	km ²	実質赤字比率	- %
総人口	64,081,688	千円	実質赤字比率	11.6 %
総収入	62,632,764	千円	実質赤字比率	38.4 %
総支出	988,169	千円	実質赤字比率	
標準財政規模	36,195,164	千円	実質赤字比率	
地方債現在高	71,076,255	千円	実質赤字比率	

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



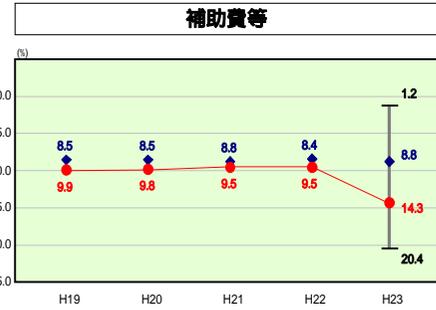
類似団体内順位 5/88 全国平均 13.1 長崎県平均 11.6

物件費の分析圖
・物件費に係る経常収支比率は、前年度と比べて0.7ポイント増となったが、類似団体平均、全国平均、長崎県平均をいずれも下回っている。これは、予算要求枠の設定や事務事業の見直しにより、効率化・経費削減に努めたことによるものである。



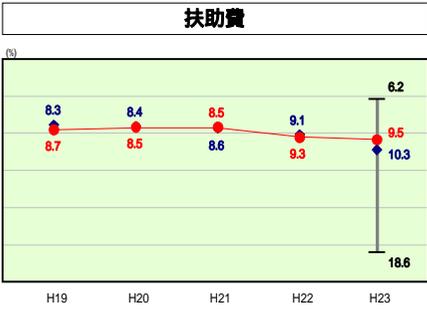
類似団体内順位 8/88 全国平均 25.4 長崎県平均 24.3

人件費の分析圖
・人件費に係る経常収支比率が類似団体と比較して低くなっている要因としては、集中改革プランに沿った定員管理の適正化によるものである。
今後も、適材適所の職員配置や事務の効率化を図ることにより、人件費の抑制を図る。



類似団体内順位 84/88 全国平均 10.1 長崎県平均 9.0

補助費等の分析圖
・補助費等に係る経常収支比率は、前年度と比べて4.8ポイントの増となっている。これは、下水道事業特別会計が平成23年度に企業会計へ移行したことにより、繰出金から下水道事業費補助(補助費等)へ変わったためである。



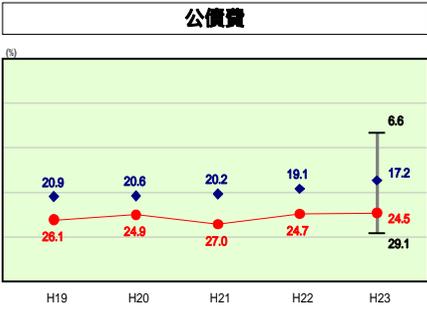
類似団体内順位 35/88 全国平均 10.5 長崎県平均 10.3

扶助費の分析圖
・扶助費に係る経常収支比率は、生活保護費の増や子ども手当の増などにより前年度比0.2ポイントの増となった。
昨今の経済情勢等により、今後も扶助費の増加傾向が見込まれるため、他の経費の抑制により健全な財政運営を図る。



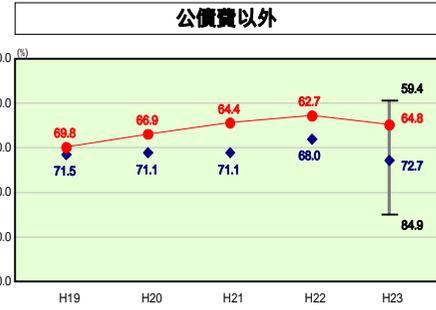
類似団体内順位 10/88 全国平均 12.2 長崎県平均 11.4

その他の分析圖
・その他に係る経常収支比率は、前年度と比べて3.6ポイントの減となり、類似団体平均、全国平均、長崎県平均をいずれも下回っている。これは、下水道事業特別会計が企業会計へ移行したことにより、下水道事業への繰出金が皆減したためである。



類似団体内順位 85/88 全国平均 19.0 長崎県平均 22.2

公債費の分析圖
・公債費に係る経常収支比率は、対前年度比としては、公的資金繰上償還の効果により0.2ポイント減となったが、依然として類似団体平均を上回っており、88団体中85番目となっている。
財政状況に応じて高利債の繰上償還を検討するなど、健全運営に努める。



類似団体内順位 10/88 全国平均 71.3 長崎県平均 66.6

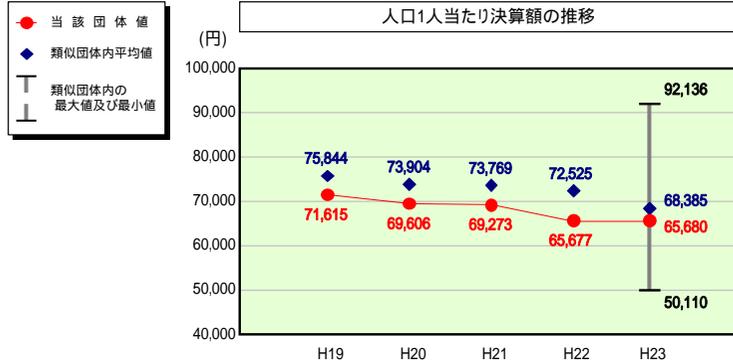
公債費以外の分析圖
・公債費以外に係る経常収支比率は、前年度と比べて2.1ポイントの増となっているが、類似団体平均、全国平均、長崎県平均をいずれも下回っている。下回っている要因としては、補助費等に係る経常収支比率が類似団体平均より上回っているのに対し、人件費、扶助費、物件費及びその他にかかる経常収支比率が、類似団体平均より下回っているのが要因である。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

長崎県諫早市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



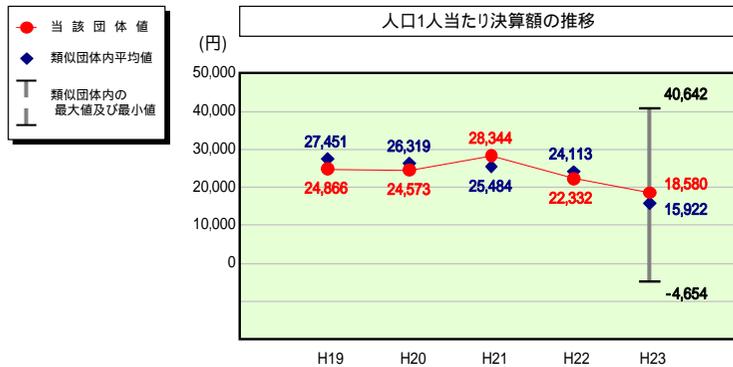
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	8,272,171	58,533	63,942	8.5
賃金(物件費)	241,857	1,711	4,001	57.2
一部事務組合負担金(補助費等)	1,012,697	7,166	3,674	95.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	25,929	183	626	70.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	5	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	293,266	2,075	2,645	21.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	258,487	1,829	1,278	43.1
退職金	822,148	5,817	7,786	25.3
合計	9,282,259	65,680	68,385	4.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.92	6.65	0.73
ラスパイレース指数	107.2	107.4	0.2

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

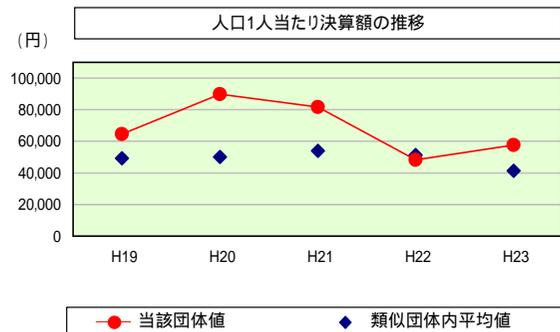


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	9,248,656	65,442	39,398	66.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	43	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,849,967	13,090	10,205	28.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	672,356	4,758	1,979	140.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	50,926	360	1,167	69.2
一時借入金利息 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	636	5	8	37.5
特定財源の額	1,332,321	9,427	7,533	25.1
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	7,864,342	55,647	29,346	89.6
合計	2,625,878	18,580	15,922	16.7

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

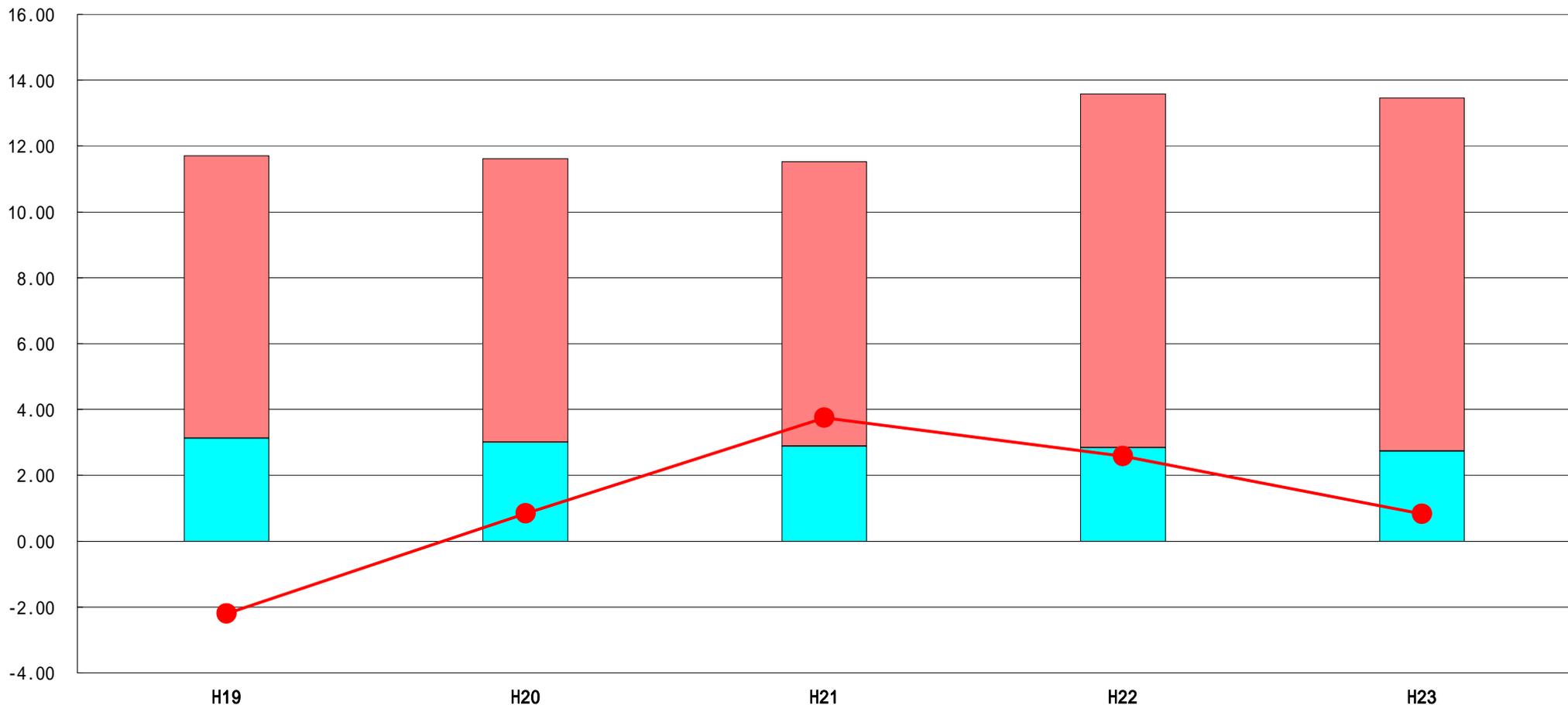
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	9,220,756	64,476	17.0	49,332	5.7	11.3
うち単独分	6,163,038	43,095	23.9	29,329	11.9	12.0
H20	12,776,552	89,821	39.3	50,068	1.5	37.8
うち単独分	7,181,302	50,486	17.2	30,080	2.6	14.6
H21	11,576,147	81,644	9.1	53,925	7.7	16.8
うち単独分	7,668,833	54,087	7.1	34,260	13.9	6.8
H22	6,839,865	48,283	40.9	51,263	4.9	36.0
うち単独分	4,272,830	30,162	44.2	29,061	15.2	29.0
H23	8,156,438	57,714	19.5	41,433	19.2	38.7
うち単独分	3,476,618	24,600	18.4	22,351	23.1	4.7
過去5年間平均	9,713,952	68,388	1.6	49,204	4.1	2.5
うち単独分	5,752,524	40,486	12.4	29,016	6.7	5.7

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

長崎県諫早市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		8.58	8.62	8.64	10.74	10.73
 実質収支額		3.12	3.00	2.88	2.84	2.73
 実質単年度収支		2.20	0.84	3.74	2.58	0.82

分析欄

標準財政規模、財政調整基金は、前年度と同程度で推移しているものの、実質収支比額については、3.4%減となったことから標準財政規模比が前年度と比較して0.11ポイントの減となった。

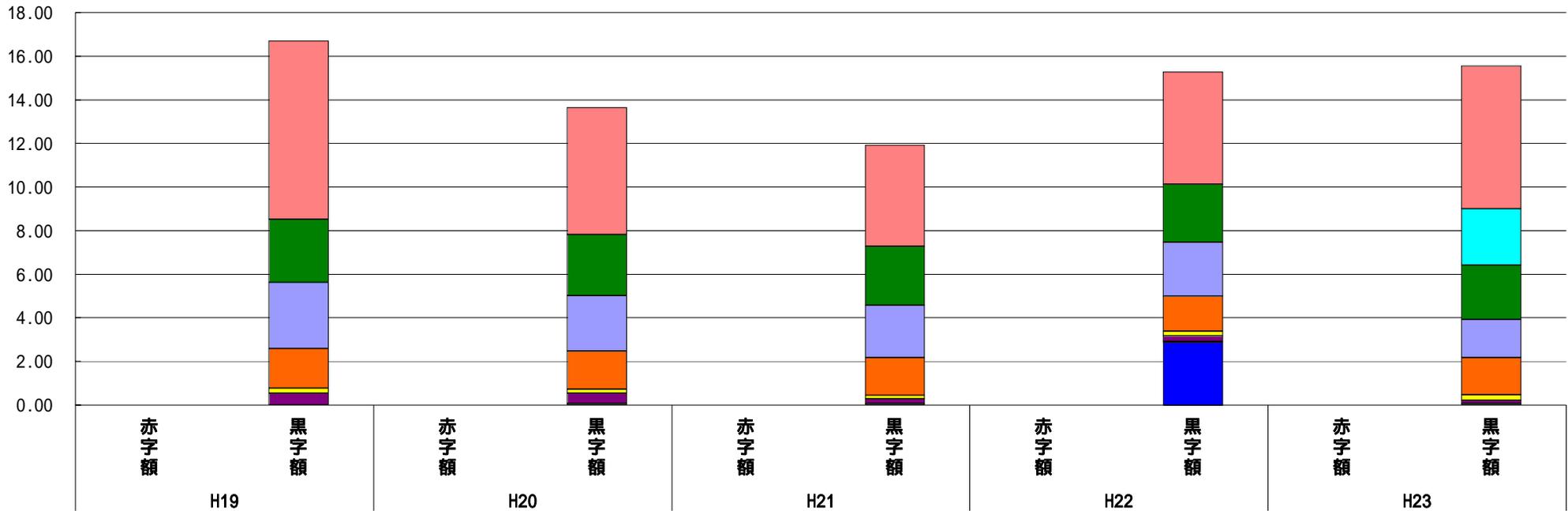
今後も合併特例事業債などの交付税算定上有利な起債を活用しつつ、自主財源の確保、集中改革プランに沿った定員管理の適正合理化、民間委託の推進などを行い、財政の健全化を図る。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

標準財政規模比 (%)

平成23年度

長崎県諫早市



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
水道事業会計		8.20	5.83	4.64	5.16	6.57
下水道事業会計		-	-	-	-	2.58
一般会計		2.89	2.80	2.71	2.64	2.49
国民健康保険事業特別会計		3.02	2.55	2.39	2.47	1.76
工業用水道事業会計		1.83	1.75	1.73	1.63	1.70
墓園事業特別会計		0.23	0.19	0.16	0.20	0.24
介護保険事業特別会計		0.53	0.47	0.22	0.25	0.15
後期高齢者医療特別会計		-	0.06	0.06	0.06	0.07
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	2.86	0.00

分析欄

平成23年度より下水道事業について、特別会計から公営企業会計へ移行していることにより、その他会計(黒字)が皆減となり下水道事業会計が皆増となっている。

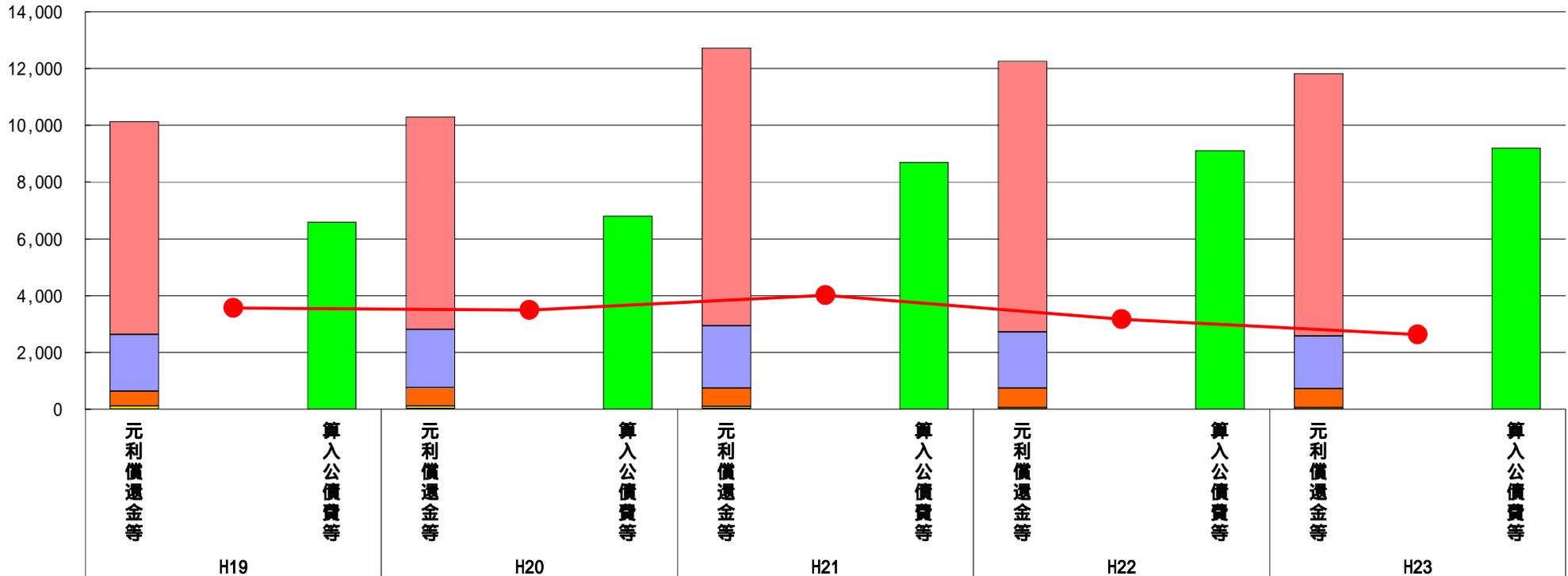
黒字額については、前年度と同程度で推移しており今後も合併特例事業債などの交付税算定上有利な起債を活用しつつ、自主財源の確保、集中改革プランに沿った定員管理の適正合理化、民間委託の推進などを行い、財政の健全化を図る。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

長崎県諫早市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)	元利償還金		7,519	7,478	9,788	9,546	9,249
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,998	2,067	2,196	1,975	1,850
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		514	643	640	680	672
	債務負担行為に基づく支出額		105	90	81	58	51
	一時借入金の利子		3	14	12	2	1
算入公債費等(B)	算入公債費等		6,582	6,796	8,698	9,098	9,197
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		3,557	3,496	4,019	3,163	2,626

分析欄

元利償還金については増の傾向にあるが、合併特例債事業債の活用により控除対象である算入公債費等も増となっており、結果として分子は減少傾向にある。

今後も合併特例事業債などの交付税算定上有利な起債を活用しつつ、公債費と交付税措置とのバランスも配慮し事業の見直しを行いながら、健全な財政運営に努める。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

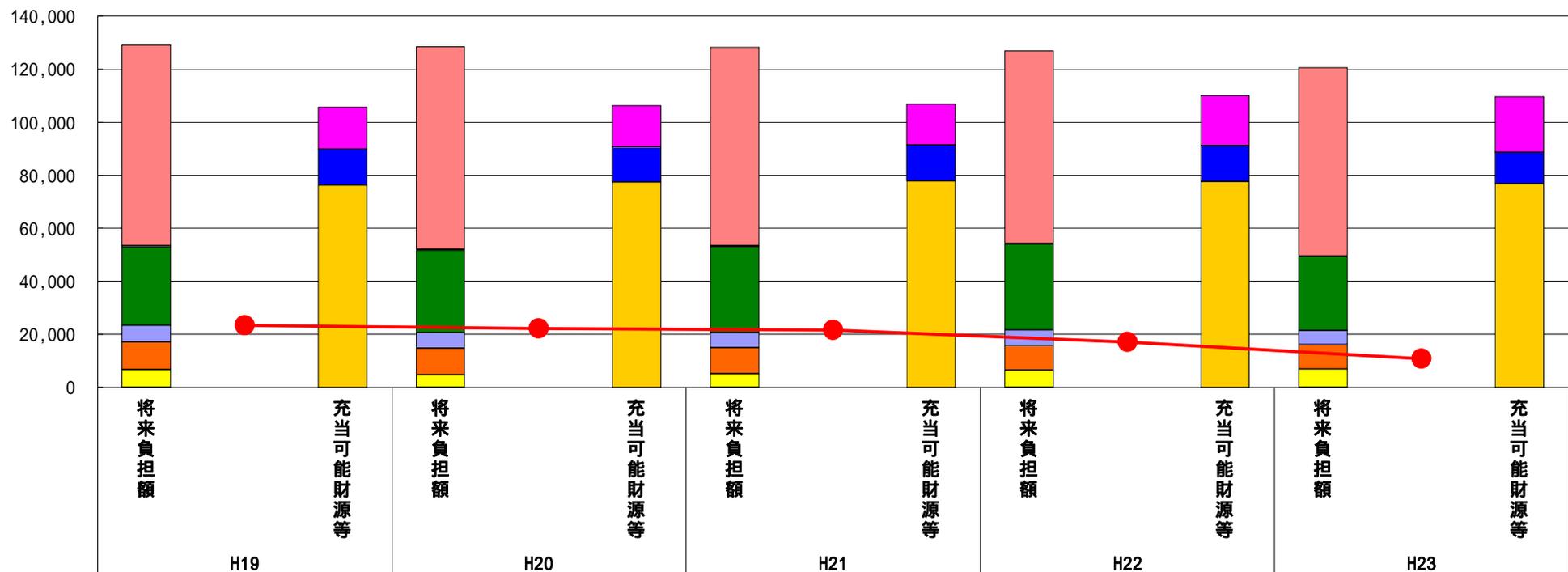
平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

（百万円）

平成23年度

長崎県諫早市



（百万円）

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		75,683	76,413	74,937	72,687	71,076
	債務負担行為に基づく支出予定額		445	369	298	250	207
	公営企業債等繰入見込額		29,504	30,920	32,513	32,345	27,901
	組合等負担等見込額		6,244	6,037	5,632	5,870	5,239
	退職手当負担見込額		10,476	9,902	9,769	9,365	9,344
	設立法人等の負債額等負担見込額		6,670	4,771	5,134	6,417	6,781
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		15,830	15,574	15,552	18,830	21,083
	充当可能特定歳入		13,488	13,324	13,389	13,622	11,851
	基準財政需要額算入見込額		76,255	77,271	77,837	77,477	76,717
(A) - (B)	将来負担比率の分子		23,450	22,241	21,506	17,003	10,897

分析欄

将来負担額を占める割合が最も大きい一般会計等にかかる地方債現在高は、繰上償還の実施などにより約16億円の減となった。

公営企業等繰入見込額の約44億円の減については、下水道事業の法適用への移行が一部影響している。

将来負担額から控除される充当可能財源等においては、22年度に創設した諫早市まちづくり未来基金への約15億円の積立てなどにより、充当可能基金額が約23億円の増となった。

これらにより、22年度と比較して分子合計が大きく減少したが、今後も後年度への公債費負担を抑制できるよう繰上償還を継続するなど、引き続き財政の健全化に努めていく。

平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。